

平成 30 年度

学校法人高水学園
事業報告書

令和元年 5 月 18 日 理事会決定

1 法人の概要

(1) 建学の精神

本学の建学の精神は、「楽学」である。これは論語の第一章「学びてときに之を習う、亦説ばしからずや。朋有り遠方より来る、亦楽しからずや。」からの引用である。

その謂れは、「学んだことを常に繰り返してゆくと、やがて自分のものとなり、自由に働きを表すようになる。」である。絶えざる人格の練成と教育の実践を重視している。

(2) 法人の概要

明治	31年	4月	山口県高水村新町に就業年限2ヶ年の高水村塾を創設
	32年	11月	私立学校令発布により塾則を制定
大正	9年	7月	修業年限5ヶ年に延長し高水中学と改称
	12年	3月	財団法人山口県高水中学校に移行
昭和	23年	4月	学制改革により山口県高水高等学校に移行、併設中学校は付属中学校と改称
	26年	3月	学校法人山口県高水高等学校設立
	27年	4月	全日制商業科設置
	29年	4月	岩国市に学校移転
	34年	4月	校名を高水高等学校・同付属中学校と改称
	35年	4月	高水高等学校家政科を設置
	46年	4月	法人名を高水学園と改称、岩国短期大学(幼児教育科、英語科)を設立
	51年	3月	高水高等学校家政科を廃止
平成	13年	4月	岩国短期大学にビジネス実務科設置
	14年	3月	岩国短期大学英語科を廃止
	18年	4月	ビジネス実務科をキャリアデザイン学科に名称変更
	20年	4月	高水高等学校付属中学校と高水高等学校の一貫教育の施行(学則に規定化する)
	25年	3月	岩国短期大学キャリアデザイン学科廃止

(3) 設置する学校学科の名称・設立月・所在地

学校名	設立年月	所在地
岩国短期大学	昭和46年4月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校付属中学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号

平成30年5月1日現在

(4) 設置する学校学科の入学定員と学生生徒数(単位：人)

学校名	学科名	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
岩国短期大学	幼児教育科	80	70	160	139
高水高等学校	普通科	280	247	890	649
高水高等学校付属中学校		70	25	230	78

平成30年5月1日現在

【教職員の概要 専任(非常勤)】(単位：人)

学校名	教員数(非常勤)	職員数(非常勤)	合計(非常勤)
岩国短期大学	12 (23)	8 (8)	20 (31)
高水高等学校	45 (3)	6 (6)	51 (9)
高水高等学校付属中学校	10 (2)	1 (0)	11 (2)

平成30年5月1日現在

(5) 役員概要

(平成30年5月1日現在)

定員数 理事9名、監事2名

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	経 歴	就 任	
				就任年月日 (重任年月日)	届出年月日 (登記年月日)
理 事 長	宮 川 明	常勤	高水学園理事長	平成12年12月7日 (H28.10.13)	平成24年10月31日 (H24.10.22)
理 事	寺 嶋 隆	常勤	岩国短期大学学長	平成12年12月7日 (H28.10.13)	平成24年10月31日
理 事	前 田 茂 雄	常勤	高水高等学校校長	平成23年4月1日 (H28.10.13)	平成24年10月31日
理 事	森 橋 律 夫	非常勤	岩国駅構内タクシー社長	平成22年4月1日 (H28.10.13)	平成24年10月31日
理 事	富 沢 佐 一	非常勤	中国新聞社客員編集委員	平成24年10月13日 (H28.10.13)	平成24年10月31日
理 事	松 原 一 誠	非常勤	錦ドリーム開発取締役	平成17年4月1日 (H28.10.13)	平成24年10月31日
理 事	加 藤 善 美	非常勤	前高水高等学校長	平成25年4月1日 (H28.10.13)	平成25年4月9日
理 事	館 澄 子	非常勤	高水学園同窓会副会長	平成27年4月1日 (H28.10.13)	平成27年4月1日
理 事	宮 川 洋	常勤	高水高等学校事務局長	平成16年10月13日 (H28.10.13)	平成24年10月31日 (H24.10.22)

● 監事の就任年月日

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	就 任	
			就任年月日 (重任年月日)	届出年月日
監 事	池 元 幸 信	非常勤	平成20年10月13日 (H28. 10. 13)	平成24年10月31日
監 事	村 元 真 澄	非常勤	平成27年12月10日 (H28. 10. 13)	平成27年12月14日

(平成30年5月1日現在)

(定員数20名)

(6)評議員の概要

氏名	主な現職等	就任	
		就任年月日	重任年月日
寺嶋 隆	理事	平成11年4月1日	平成28年10月13日
前田 茂雄	理事	平成23年4月1日	平成28年10月13日
宮川 洋	理事	平成17年4月1日	平成28年10月13日
森橋 律夫	理事	平成11年9月21日	平成28年10月13日
松原 一誠	理事	平成12年10月13日	平成28年10月13日
富沢 佐一	理事	平成16年10月13日	平成28年10月13日
館 澄子	理事	平成12年10月13日	平成28年10月13日
加藤 善美	理事	平成29年3月2日	
宮本 剛	高水高等学校附属中学校長	平成27年4月1日	平成28年10月13日
西村 宏	岩国市教育委員長	平成22年4月1日	平成28年10月13日
渡辺 耕而	元高水高等学校附属中学校長	平成20年3月1日	平成28年10月13日
伊達 明彦	岩国通運代表取締役	平成1年3月28日	平成28年10月13日
吉岡 賢一	高水学園同窓会副会長	平成15年7月16日	平成28年10月13日
長尾 泰子	元高水学園囑託	平成12年10月13日	平成28年10月13日
玉田 和子	錦病院理事	平成16年10月13日	平成28年10月13日
岡本 勝	とみや取締役社長	平成17年4月1日	平成28年10月13日
松本 泰行	元高水高等学校教頭	平成28年10月13日	
稗本 哲也	前高水高等学校事務長	平成15年1月22日	平成28年10月13日
那須 理恵	高水高等学校事務長	平成27年12月10日	平成28年10月13日
中村 洋子	岩国短期大学事務長	平成28年10月13日	

(7)校地校舎等の状況

① 校地等

(平成30年5月1日現在)

区 分	(学校名) 岩国短期大学			高水高等学校・中学校			合 計		
	専用	共用	計	専用	共用	計	専用	共用	計
所 有	m ² 34,551.00	m ²	m ² 34,551.00	m ² 131,822.00	m ²	m ² 131,822.00	m ² 166,373.00	m ²	m ² 166,373.00
借 用			0.00			0.00			0.00
合計	34,551.00	0.00	34,551.00	131,822.00	0.00	131,822.00	166,373.00	0.00	166,373.00
最終届出年月日	H21 年 12 月 28 日			H10 年 2 月 3 日			年 月 日		

② 校舎等

区 分	岩国短期大学			高水高等学校・中学校			合 計		
	専用	共用	計	専用	共用	計	専用	共用	計
所 有	m ² 8,705.00	m ² 0.00	m ² 8,705.00	m ² 18,482.00	m ² 0.00	m ² 18,482.00	m ² 27,187.00	m ² 0.00	m ² 27,187.00
借 用									
合計	8,705.00	0.00	8,705.00	18,482.00	0.00	18,482.00	27,187.00	0.00	27,187.00
最終届出年月日	H17 年 5 月 31 日			H29 年 7 月 13 日			年 月 日		

II. 事業の概要

■【法人全体】

高水学園 120 周年誌を刊行。

文部科学省の「経営強化集中支援事業」に 4 年連続で採択された。また、教育振興寄付金の活動を継続し、外部資金を獲得することができた。

■【短期大学】

I. 事業報告

1. 教職員の資質の向上とモラルの高揚

教職員の資質向上のために、FD 研修会（年 3 回）と SD 研修会（毎月 2 回）を実施した。4 月の学期始めには非常勤講師を対象に合同研修会を開催し、本学の教学の運営方針を学内で共有した。また、全教職員参加の合同研修会として、建学の精神・教育理念と教育目的、SWOT 分析会、財務状況説明会、ハラスメント講習会、また今年度は、平成 28 年度に相互評価を行った埼玉純真短期大学の藤田学長を講師として招き、認証評価に向けての学生募集方法から教職員の資質の向上に役立つ研修を行った。

2. 入学定員確保と就職率達成

◎ 指定校推薦入試の強化

指定校より、成績優秀で入学後もリーダー的活躍が期待される生徒を本学の学生として迎え入れるため、平成 29 年度入試から設けている指定校推薦入試成績優秀者奨学金について指定校推薦入試受験生のうち高校における評定平均値が 4.5 以上の場合、入学金を全額免除することに加え、平成 30 年度入試からは評定平均値 4.0 以上であれば入学金を半額免除する制度へと拡充した。また高大連携協定校の場合、指定校推薦入試の受験の場合は、入学金半額免除することとしており、この制度への関心も高まってきている。

◎ 高大連携及び中大連携の拡充を図ることで、受験生への広報活動に繋げる。

高大連携協定校については、平成 27 年度においては 2 校と締結し、平成 28 年度に 2 校と、30 年度にはさらに 1 校の協定書の取り交わしを実施した。これらの高校とは協定の趣旨に基づき、出前授業の充実や校内行事への学生のボランティア活動への参加を積極的に推し進めてきた。また、平成 30 年度は中学校との連携教育の一層の推進を図るため、岩国市内 2 校との中学校との連携授業や校長との意見交換などを行うとともに、中学生の大学訪問を受け入れて模擬授業をおこなうなどして、中学校段階から幼児教育・保育の分野をめざす生徒が本学への進学を目標とできる環境づくりを推進した。

◎ オープンキャンパスの内容強化

受験を検討する高校生や社会人が本学の魅力を感じ取れるようオープンキャンパスの内容充実を図るとともに、参加者の受け入れ態勢を充実する。そのため、毎回参加者のアンケート結果の内容やキャンパスメイトとして参加する学生の改善意見を吟味しながら参加者の満足度を向上させる取り組みを継続した。特に、参加者の満足度や参加数を向上させるため、学長をトップとする「オープンキャンパスプロジェクトチーム」を立ち上げて、内容の充実を図った。この結果、3 月のオープンキャンパス参加者数は大きく増加し、アンケートでも満足する内容が多く見られた。

◎ 本学独自の奨学金制度の広報

高校生が経済的負担を比較検討して進学先を決定する実情を踏まえ、他大学との競争力を保持強化し、意欲ある優秀な学生を積極的に獲得したり経済的理由による中途退学を防止したりするための各種奨学金制度の広報に努めた。高校訪問では各高校の進路担当者に説

明を行ったり、業者主催の進学相談会等においても高校生に直接説明を行ったり資料提供を行ったりした。

3. 中期的財政計画の実施

本学は、今年度も厳しい財政状況の中、運営規模を縮小してきたが、抜本的な対策にはなっていない。年度当初も中期財政健全化計画を策定したが、短期大学は幼児教育科単科であるため、教育課程に沿った教員の適切な配置と、職員の専門的・技術的業務力があることで、学生への教育がなされている。よって財政計画から人事政策は実践できなかったが、全般的な経費の抑制は図れた。

4. 退学者等を減らす学生指導及び教育相談の充実

目標として(1)ミスマッチの解消(2)入学後の保育者への目的意識の涵養と動機づけ(3)学生へのきめ細かい指導とクラス運営の工夫(4)学生の質の向上を掲げた。具体的にはプレカレッジの内容の充実、新入生合宿研修や入学後早期の行事への参加による目的意識の強化、基礎学力底上げのための学習や実習前テストの充実等を行った。さらに欠席状況調査やそれに基づいた学生への個人面談、年2回の保護者懇談会、月一度の科会での学生情報交換等も行ったが、平成30年度の中途退学者は除籍者を含め、1年生7名、2年生4名で中途退学率は7.9%と、昨年度の2.7%から大幅に増加した。

5. 学生募集と広報活動の充実強化

全教員による高校訪問は年間を通じて4期に分け、本学の取り組み・入試制度・奨学金制度・オープンキャンパスの案内等の説明を行った。1回の訪問校は約100校強であり、訪問の時期により説明内容を変更している。高校内ガイダンスにも積極的に参加し、高校生に直接本学への理解と関心を深めるよう努めた。

また、平成30年度も岩国～那覇間の空路を活用した沖縄県への学生募集を行ってきた。沖縄県出身学生対象の奨学金制度を整備するとともに岩国市観光振興課や岩国商工会議所との連携のもと、昨年に引き続き那覇市及び近隣の高校を学長、事務長、入試広報センター長3名で訪問し、校長及び進路指導担当者と面会して本学への進学について協力を依頼した。さらには、業者主催の会場ガイダンスにも参加し、高校生が本学の情報を入手できる場を設けた。

6. 就職活動の支援強化

◎ 就職100%に向けての取り組みの強化

就職希望調査を1年次7月、1月、2年次4月、10月、1月計5回実施、就職個別面談1年次2月より実施している。就職希望調査と面談を実施することで、学生の就職希望の傾向を把握し支援に活かした。特に個人面談を利用件数は、年間延べ800件以上であった。就職試験対策講座として、1年次の夏休みに基礎講座、2年次4月より専門分野の講座を専任教員の協力の下実施した。毎年受験した学生に対し、試験項目と内容、受験の感想、さらに後輩たちへのアドバイス等を記入した「統一適性試験結果報告書」を受験後に提出させ、キャリア支援センターでそれらを取りまとめ、問題の傾向と対策を分析し、次年度の「就職試験対策講座」に生かしている。正課内では「就職の手引き」を活用してキャリア教育を実施し、就職内定から内定後のアドバイスまできめ細やかに行い学生の不安を取り除いている。また平成28年度より保育所・幼稚園・認定こども園・施設を招いての就職合同説明会「就職ナビ in いわたん」を実施して就職支援を行

◎ 「ようこそ先輩！保育実践力養成講座」の充実

キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにおいて施設、保育所、幼稚園各分野で活躍している卒業生を講師として招き、就職活動の取り組みや新任から現在までの体験を通しての講話、保育実技等のワークショップを体験することで、保育実践力の向上に努め専門職に対する意識向上を図った。

◎ フォローアップセミナーの強化

新卒者を対象に毎年6月に、就職して間もない時期に抱く不安や疑問を解消し早期離職防止を目的に開催している。KJ法を使ってのグループワークでは、お互いの経験や思いを素直に出し合い、問題点・課題・解決策を考え、不安等を解消と共に自分の未熟さに気づき自己研鑽に努める機会となった。卒業生が司会進行、記録発表を実施し、教員はアドバイス役として関わるようにすることで、自主性が育ち明日への活力を生み出すことができたセミナーとなり、早期離職の軽減に有効であった。

7. 地域貢献の推進

地域交流センター、岩国子育て支援ネットワーク（lwatan 子育て愛ねっとアカデミー）等が中心となつての地域連携の組織的な取り組みを行っている。

◎ 生涯学習公開講座の実施

地域における高等教育機関の知的貢献という目的から生涯学習公開講座を年間前期と後期に実施している。特に高度情報社会に向けて一般市民の情報機器に対する啓発と理解、及び機械操作の習熟を念頭に継続的な実施を行っている。また、現場で働く保育者が岩国基地関係のアメリカ人子弟を園児として迎えて保育している幼稚園や保育園、認定こども園の増加のため、保育者のための英語講座を新設し次年度も継続をする。

◎ 親学講演会の充実

年一度の「親守詩大会」を岩国親学推進協議会の協力を得て開催している。将来、保育者になる学生に対して、子供が親に対しての心情を吐露した句に親が応える親守詩の発表を聞かせて親心を実感する機会を設けた。今年度は12月15日（土）に実施し、その後に行われた講演会では、NPO 法人テnderハート理事長の松下美樹先生を講師に迎え、「発達障害をもつ我が子達が教えてくれたこと ～ストレスケアがもたらす幸せ～」の講演を通して親子の愛情形成について学んだ。

◎ 学生ボランティアの奨励

学生ボランティアを強く推奨していく。2年間で46時間以上ボランティア活動に参加した学生の中から、宮川渙男賞と地域貢献奨励賞を、学位記授与式で表彰した。昨年度より、1年生には年2回のボランティア活動を義務づけたことにより、2年間で46時間以上のボランティア従事する学生の割合が高まった。

◎ 岩国子育て支援ネットワーク（lwatan 子育て愛ねっとアカデミー）の活動

本学の幼児教育科の専門性を生かし地域の子育て支援事業を展開していくために、平成23年度に岩国子育て支援ネットワーク（lwatan 子育て愛ねっとアカデミー）を設立し、8年が経過した。その間、保育者対象研修会（年2回）、「lwatan 親子広場」（年6回）、「lwatan 親子フェスタ」（年1回）を継続的に実施してきている。第8回「lwatan 親子フェスタ」では、岩国幼稚園協会、岩国市保育協会、岩国市と和木町母子保健推進協議会等に加えて、岩国商工会議所の連携によって盛大に開催することができ、1,600名の集客を得ることができた。このネットワークをさらに継承して組織的に子育て支援事業を今後も行っていく。また、次年度も資金獲得のために、山口県からの補助を受ける予定である。

II. 事業内容

1. 入学式

平成30年4月3日(火) 69名入学

2. 新入生歓迎行事

平成30年4月13日(金)～4月15日(日) 十種ヶ峰青少年自然の家

3. 学位記授与式

平成31年3月19日(火) ※宮川渙男賞(2名表彰)

4. オープンキャンパス「本学」

3月21日(水・祝)、6月16日(土)、7月14日(土)、8月4日(土)、8月5日(日)
9月22日(土)、11月18日(日) 計 7回実施

5. 進学説明会

業者主催による入試相談会に約65回参加

6. 高大連携「高大連携高校を中心に出席授業等による連携を推進」

- ◎ 高水高校 9回
- ◎ 山口県立岩国総合高校 5回
- ◎ 山口県立岩国商業高校 5回
- ◎ 山口県立高森高等学校 6回
- ◎ 山口県立熊毛北高校 3回
- ◎ 山口県立新南陽高校 3回
- ◎ 広島県立大竹高校 7回
- ◎ 広島県立加茂高校 1回
- ◎ 広島県立安芸高校 1回
- ◎ 清水が丘高等学校 1回

7. 中大連携「出席授業および大学見学および模擬授業体験等」

- ◎ 岩国市立川下中学校 2回
- ◎ 岩国市立岩国中学校 1回
- ◎ 高森みどり中学校 5回
- ◎ 廿日市市立野坂中学校 大学訪問、模擬授業

8. 入学試験

AO入試(4回)、指定校推薦入試(2回)、推薦入試(3回)、試験入試(3回)
社会人入試(6回)、長期履修生入試(2回)

9. 入学前教育(プレカレッジ実施)

オリエンテーション、大学の授業の受け方(3科目)、保育者になるため(1科目)
基礎技術(3科目)、人間関係づくり(3科目)
第8回Iwatan親子フェスタへの参加
平成30年12月～平成31年3月までの間で

10. 教員研修会「FD」(毎月担当教員による発表活動)、職員研修会「SD」、教職員合同研修会「FD・SD」(年3回活動)

11. 教育懇談会・保護者懇談会(年度内3回実施)

12. 教育相談の充実

オフィスアワーは時間割に組み込み、前後期とも金曜日の5時限目を設定、非常勤講師については授業時間の前後10分間とし、シラバスに明記。いずれも掲示し、学生へ周知。

13. 事業の運営

教授会（定例・臨時）、科会、部会、各種委員会

14. 地域貢献推進事業

①生涯学習公開講座 平成30年度前期3講座、後期3講座

親守詩大会・親学講演会 12月15日（土）に実施

岩国子育て支援ネットワーク（lwatan子育て愛ねっとアカデミー）事業

②保育者対象研修会

平成30年度第1回保育者対象研修会 7月28日（土）

平成30年度第2回保育者対象研修会 2月2日（土）

第8回 lwatan 親子フェスタ 3月3日（日）

③lwatan 親子広場

第1回 5月12（土） 第2回 6月16（土）

第3回 7月14（土） 第4回 9月22（土）

第5回 10月13（土） 第6回 11月10（土）

15. その他の事業

山口県立熊毛北高校との連携協定

埼玉純真短期大学学長 藤田利久先生を迎えての研修会 11月29日（木）

福田岩国市長（本学客員教授）による特別講義 5月25日（金）

白木岩国芸術振興財団理事長による特別講義 11月9日（金）

就職ナビ in いわたんの開催 6月30日（土）

お店屋さんごっこ 7月6日（金）

幼稚園教諭免許更新講習 8月18日（土）、8月19日（日）

私立大学等経営強化集中支援事業申請に採択される

消防等防災訓練 10月9日（火）

■【高等学校・同付属中学校】

I 事業報告

建学の理念である「徳性の陶冶」、教育による人格の錬成を根幹に社会に貢献できる人物を育成することを目標に、本校での学校活動全般、一授業、特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）や部活動等—を通して、豊かな人間性を育み（人間性の保障）、自己の夢や志を実現するための基礎・基本学力を養成（学力の保障）し、6年後あるいは3年後には一人ひとりの進路を保障する、という3つの保障を重点目標に掲げ、全教職員が教育活動を実践した。

まず、「学校運営の質」を高めるために、自己評価書を作成し、学校外から学校関係者評価委員を選任して客観的評価を仰ぎ改善に努めた。また、「授業の質」を高めるために、生徒による授業評価アンケートの活用や全教員による教員研修大会を実施して、授業改善に取り組んだ。さらに、「教職員の質」を高めるために、教職員一人ひとりの資質能力と意欲の向上を目指して教職員の研修講座を充実させるとともに、校長と教職員との面談を密に行った。

その中でも今年度は特に、教員の授業の質の向上を図る目的で、11月に全教員参加しての研究授業と協議会を実施した。その成果として、ICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」に向かう授業を全教員が展開していこう、という共通認識ができたことはきわめて意義深い。また、学習指導、生徒指導、進路指導、特別支援教育について、それぞれ外部講師を招聘しての教員研修を開催し、研鑽を深めることができた。

今年度の具体的な取り組みについては、次の事業内容に記す。

Ⅱ 事業内容

1. 本校での3つの保障(学力、人間性、進路)に対して以下の取り組みを行った。

(1) 学力の保障

①教員研修 年4回(1学期2回、2学期2回)

学習、進路、生徒指導、特別支援教育関係の外部講師を招いて実施。

②教科会議 原則、毎週1回、英・数・国・社・理・保健・芸術・家庭科で実施。

③研修大会 11月28日、全教職員が参加して、『ICTを活用しての「主体的・対話的で深い学び」』というテーマで研究授業と研究協議を実施し、研鑽を積んだ。

(2) 人間性の保障 特別活動(生徒会活動・学校行事)や部活動を通じた取り組み。

①運動会 9月8日 来賓、保護者約500名参観

②楽学祭 9月21日～22日 テーマ「Human Bloom ～平成最後の花を咲かせよう～」
保護者・学校関係者約300名自由参観

③修学旅行 ○普通科2年生修学旅行 9月26日～9月29日、東京方面 生徒183名、引率教員8名で実施。

○六年制普通科1年生 10月21日～10月27日、オーストラリアへ生徒31名、引率教員3名で実施。

④挨拶・無遅刻無欠席運動週間 楽学石碑前、南岩国駅前で各学期3回実施

○6月11日～16日 ○11月12日～17日 ○2月12日～16日

⑤普通科2年生インターンシップ 11月14日 普通科2年生173名、企業等76社依頼

⑥部活動 実績：インターハイ等全国大会出場クラブ

○団体：女子ハンドボール部、空手道

○個人：水泳、柔道、放送

*女子ハンドボール部、ベスト8

⑦その他 ◇科学の甲子園大会(ジュニア)県大会2位、全国大会出場12月7日～9日
(つくば国際会議場)

◇全日本高校模擬国連大会 2チーム出場 11月10日・11日 国連大学

(3) 進路の保障

①付属中 ○楽学テスト3回 ○学力推移調査2回 実施。

②進路指導 ○外部模試の活用 中3～高3 進研、全統、駿台模試を実施
○模試検討会3回

③進路研修会 ○高校保護者対象：各学年2回 ○生徒対象：各学年2回実施。

④就職：就職模試(2回)、就職ガイダンス(夏季休業中)を実施

*今年度の進路(卒業生213名)について

進学者135名(4年制大学85名、短期大学6名、専門学校44名)、

就職者59名(公務員13名、民間46名)、浪人生11名、家居(未定者)8名

2. 学校関係者評価委員会：外部からの視点で指導・助言を得た。

○学校関係者評価委員：PTA：森脇美奈子、企業：寺内浩之、中村義行、
教育界：岡崎天隆、地域：八木敦浩 の以上5名。

○年3回(各学期開催)6月6日、11月13日、3月7日

*3月に自己評価書を理事会に提出し、次年度の改善策を検討した。

3. グローバル化・異文化理解に向けて

○カナダ、ポールケイン高校との短期交換研修プログラムを実施

11月11日～14日 ポールケイン高校から、生徒8名、教員2名来校

3月14日～24日 生徒8名、教員1名、ポールケイン高校へ派遣

4. 広報活動について 以下の入試に向けて、中高で広報活動を展開した。

- ◇ 付属中学校 専願入試 12月 2日
一般入試 1月 13日
- ◇ 高等学校 六年制普通科：一般入試 1月 13日
普通科：特別・推薦入試 1月 12日、一般入試 1月 30日

【高校】

- (1) 中学校への進路説明会
時期 6月6日～7月6日
対象 岩国市内の中学校 14校、大島中、東和中
- (2) 中学校訪問 4地区への訪問（市内、玖西、柳井以西、広島西地区）各2名ずつ派遣
第1回 5月 16日 今年度入試の報告、卒業生・在校生の状況を説明
第2回 12月 1・8日 次年度入試について、3年生の進路状況を説明
- (3) 学習塾対象説明会（本校）
9月 13日 岩国市内、柳井、広島市地区から 20名参加
- (4) 中学校教員対象進路説明会
5月 22日 岩国市内、柳井・大島地区、西広島地区から 22校参加
10月 4日 岩国市内、柳井・大島地区、西広島地区から 31校参加
- (5) オープンスクールの開催（8月・11月）
第1回 8月 4日：参加者 520名（生徒 399名、保護者等 121名）
内容 ①入試対策講義 ②クラブ見学 ③クラブ体験
第2回 11月 3日：参加者 181名（生徒 130名、保護者等 51名）
内容 ①入試対策講義 ②模擬授業 ③クラブ体験
- (6) 文化部の発表会
長唄三味線発表会（8月 26日、シンフォニア岩国）生徒、保護者、一般約 200名

【付属中】

- (1) 小学校訪問（5月・9月）
下松市～廿日市方面、約 100校訪問
- (2) 学習塾へのPR及び訪問活動
楽学フェスタのPR資料を学習塾 80校へ郵送（5月）
廿日市・五日市方面学習塾 25校訪問（7月）
学習塾責任者との情報交換会（12月）
- (3) 学習塾への講演会
芸城学院柳井校 7月 5日
芸城学院西岩国校 7月 6日
- (4) 学習塾対象説明会（本校）
9月 13日 岩国市内、柳井、広島市地区から 20名参加
- (5) オープンスクール（楽学フェスタ）全3回の開催
第1回 6月 2日、99名の親子参加
第2回 7月 14日、84名の親子参加
第3回 8月 26日、130名の親子参加
- (6) 付中入試説明会全2回の開催
第1回 9月 30日、77名（40組参加）
第2回 10月 27日、34名（15組参加）
- (7) ジュニア英語スクール（ケイト・重岡教員による小学生への英会話教室）

7月24日～28日、全6回、受講生7名

Ⅲ 施設・設備の整備について

1. 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

- 岩国短期大学クラブハウスの撤去及び処分を実施。
- 岩国短期大学1号館非常階段の修繕工事を実施。
- 岩国短期大学通学路の一部が西日本豪雨災害により破損、復旧工事を実施。
- 岩国短期大学3号館空調及び、本館の自動火災報知設備の受信機が、落雷により破損したことでの取り替え工事を実施。
- 岩国短期大学及び中・高等学校のWebサーバーを導入し情報教育環境の充実を図った。
- 高水高等学校第2校舎のICT化に伴い校内LAN設置。特別教室8教室に電子黒板導入。

IV. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

有形固定資産は、高校のトイレを和式から洋式へ改修した為建物が955万円増加し、改修部分を減価償却した為201万円減少した。

特定資産は、減価償却引当特定資産を取崩した為、1,500万円減少。

② 収支計算書の状況

私立大学等経営強化集中支援事業に採択され、2,500万円の補助金増収。私立高等学校等IT教育設備整備推進事業補助金として320万円の補助金受領。

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(単位：千円)

	27年度	28年度	29年度	30年度
固定資産	4,560,029	4,429,184	4,344,023	4,248,559
流動資産	306,910	465,384	462,418	449,508
資産の部合計	4,856,939	4,894,568	4,806,441	4,698,067
固定負債	187,614	181,918	181,598	181,081
流動負債	88,298	117,263	133,513	86,796
負債の部合計	275,912	299,181	315,111	267,877
基本金	4,637,294	4,607,252	4,644,541	4,635,437
繰越収支差額	△ 56,267	△ 11,866	△ 153,211	△ 205,247
純資産の部合計	4,581,027	4,595,387	4,491,330	4,430,190
負債及び純資産の部合計	4,856,939	4,894,568	4,806,441	4,698,067

② 収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	27年度	28年度	29年度	30年度
学生生徒等納付金収入	455,719	453,900	422,733	427,488
手数料収入	25,649	25,178	23,444	21,089
寄付金収入	12,093	29,393	25,354	17,653
補助金収入	323,470	387,890	322,811	319,412
資産売却収入	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	12,539	23,639	28,356	23,050
受取利息・配当金収入	5,313	4,346	3,280	2,306
雑収入	28,017	62,063	71,181	37,336
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	47,885	43,750	49,635	42,223
その他の収入	181,717	118,319	101,851	109,284
資金収入調整勘定	△ 81,309	△ 116,890	△ 137,017	△ 87,957
前年度繰越支払資金	159,607	272,016	394,147	367,662
収入の部合計	1,170,700	1,303,604	1,305,775	1,279,546

支出の部	27年度	28年度	29年度	30年度
人件費支出	653,359	690,547	699,397	636,051
教育研究経費支出	115,179	118,353	166,986	132,484

管理経費支出	27,653	26,193	28,477	46,656
借入金等利息支出	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0
施設関係支出	5,013	70,972	49,838	9,558
設備関係支出	4,844	8,531	1,999	5,294
資産運用支出	415	28,501	1,940	500
その他の支出	124,987	32,766	65,662	76,188
資金支出調整勘定	△ 32,766	△ 66,406	△ 76,186	△ 37,627
翌年度繰越支払資金	272,016	394,147	367,662	410,442
支出の部合計	1,170,700	1,303,604	1,305,775	1,279,546

イ) 活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

科目	27年度	28年度	29年度	30年度
教育活動による資金収支				
教育活動資金収入計	857,186	922,489	858,430	841,036
教育活動資金支出計	796,191	835,093	894,860	815,191
差引	60,995	87,396	△ 36,430	25,845
調整勘定等	△ 3,539	△ 8,325	△ 8,597	8,975
教育活動資金収支差額	57,456	79,071	△ 45,027	34,820
施設整備等活動による資金収支				
施設整備等活動資金収入計	60,300	111,573	65,450	19,991
施設整備等活動資金支出計	9,857	79,503	51,837	14,851
差引	50,443	32,070	13,613	5,139
調整勘定等	△ 2,975	744	744	744
施設整備等活動資金収支差額	47,468	32,814	14,357	5,883
小計(教育活動資金収支差額・設備整備等活動資金収支差額)	104,924	111,885	△ 30,670	40,703
その他の活動による資金収支				
その他の活動資金収入計	8,307	38,746	6,125	3,322
その他の活動資金支出計	822	28,500	1,940	1,246
差引	7,485	10,246	4,185	2,076
調整勘定等	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	7,485	10,246	4,185	2,076
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	112,409	122,131	△ 26,485	42,779
前年度繰越支払資金	159,607	272,016	394,147	367,662
翌年度繰越支払資金	272,016	394,147	367,662	410,441

ウ) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科目	27年度	28年度	29年度	30年度
教育活動収入				
事業活動収入の部				
学生生徒等納付金	455,719	453,900	422,733	427,488
手数料	25,649	25,178	23,444	21,088
寄付金	11,843	26,523	23,344	16,021
経常費等補助金	323,470	331,187	289,531	316,208
付随事業収入	12,539	23,638	28,356	23,050
雑収入	28,102	62,063	71,181	38,310

	教育活動収入計	857,322	922,489	858,589	842,165
	事業活動支出の部				
	人件費	650,865	684,851	699,076	636,472
	教育研究経費	207,891	211,287	261,143	211,411
	管理経費	31,242	29,748	31,970	50,127
	徴収不能額等	0	0	0	0
	教育活動支出計	889,998	925,886	992,189	898,010
	教育活動収支差額	△ 32,676	△ 3,397	△ 133,600	△ 55,845
教育活動外収支	事業活動収入の部				
	受取利息・配当金	5,313	4,346	3,280	2,306
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0
	教育活動外収入計	5,313	4,346	3,280	2,306
	事業活動支出の部				
	借入金等利息	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	5,313	4,346	3,280	2,306
	経常収支差額	△ 27,363	949	△ 130,320	△ 53,539
特別収支	事業活動収入の部				
	資産売却差額	0	0	0	0
	その他の特別収入	1,120	59,573	35,561	5,525
	特別収入計	1,120	59,573	35,561	5,525
	事業活動支出の部				
	資産処分差額	7,762	46,162	9,298	13,126
	その他の特別支出	0	0	0	0
	特別支出計	7,762	46,162	9,298	13,126
	特別収支差額	△ 6,642	13,411	26,263	△ 7,601
	基本金組入前当年度収支差額	△ 34,004	14,360	△ 104,056	△ 61,141
基本金組入額合計	0	△ 5,371	△ 37,312	△ 8,204	
当年度収支差額	△ 34,004	8,989	△ 141,368	△ 69,345	
前年度繰越収支差額	△ 41,267	△ 56,267	△ 11,865	△ 153,210	
基本金取崩額	19,004	35,413	23	17,308	
翌年度繰越収支差額	△ 56,267	△ 11,865	△ 153,210	△ 205,247	

(参考)

事業活動収入計	863,755	986,409	897,430	849,996
事業活動支出計	897,760	972,048	1,001,487	911,137

(4) その他

① 有価証券の状況

なし

② 借入金の状況

なし

③ 学校債の状況

なし

④ 寄付金の状況

教育振興寄付金募集により、一般寄付金として3,775,200円を獲得、受配者指定寄付金として1,983,168円獲得した。

⑤ 補助金の状況

外部資金の獲得の必要性から計画通り、岩国市より公開講座の補助金を220,000円、山口県より子育て応援ファンドの補助金を96,876円獲得。

⑥ 収益事業の状況

なし

⑦ 関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

あり（100万円未満の賃料のため、取引の重要性を判断する際の取引基準に該当しない。）

イ) 出資会社

なし

⑧ 学校法人間取引

なし